



ARTIST NO KOSODATE? / Interview / No.08

ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 30代

03 性別 女性

04 子どもの数 2人

05 子どもの年齢 8歳、3歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、
可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

週 1 回 2 時間ほど、お店の庭の手入れをしています。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？☒ はい ☐ いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

☐ 保育園 ☐ 通常保育 ☐ 一時保育・ ☐ 認可 ☐ 認可外 ☐ 幼稚園 ☐ ファミリーサポートセンター
☒ その他

一般的な保育園ではなく、子ども二人とも自主保育を選びました。自主保育という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、園舎はなく、同じ歳の子どもたちと、海や山など基本的に自然の中で過ごします。雨の日でも雪の日でも野外活動です。週に3回ほど集まって、担当の保育者一人と、当番制で親が一、二人一緒に行って、子どもたちの見守りをしています。

知人の子が自主保育に入っていて話を聞いていたのと、上の子がやんちゃな男の子で、家の中にいたら家が破壊されそうだけれど野外ならいいかなと思って（笑）、2歳から自主保育に行かせることにしました。

上の子は4歳で1つ目の自主保育を卒業した後、就学前の2年間は、親だけで結成された保育者なしの別の自主保育に行きました。子どもたちも交えて何をするかを話し合っ、毎回いろいろやりました。活動はすごくクリエイティブで、集まっている親たちはアート系の人も多いです。

自主保育は、30数年前に鎌倉の人が最初に立ち上げ、全国に広まったんですが、数年前に幼稚園が無償化になった影響で一気に人数が減ってしまい、なくなってしまうような感じです。

子どものすることになるべく口出しをしないというのがルールで、ここでは子どもたちが感じたことを大事にしています。例えば、公園で親子連れに会ったとして、自分の子が相手の子に何かをしてしまったら、親はつい「謝りなさい」と言いがちだし、それが嫌なんです。自主保育ではなるべくすぐには止めずに、経験をさせます。見ていないようで見ていて、もちろんこれ以上は危険という時はやめるよう促したり、「それをやったら相手はどう思う？」と考えさせたりもするんですが、基本的には見守ります。

ただ、そうやって見守っているのがつらい時もありました。自分の子が友達を棒でたたいたりして謝りもせずにいる時や、逆に踏んづけられている時などは悲しくて、最初は悩みました。子ども自身も、まだしゃべれないし、男の子ばかりでバチバチしていたこともあって、人とのコミュニケーションが怖くなってしまったようで、抱っ

こしないと外を歩けなくなっていました。自主保育に入れたのは間違いだったかもしれないと思い悩んでいたんですが、半年が過ぎ、春がきて暖かくなってくると、関係が変わって友達ができ、成長していく姿を間近に見られたのはすごく良かったです。保育園に預けてしまっていたら、見えづらくなってしまったでしょうから。あとは親同士のつながりも濃密なので、子育ての相談をしたり、具合が悪い時に助け合ったり、何かと心強いです。子育ての方針というか、向いている方向が同じなので、一緒にいて楽なんです。自主保育では、親は救急救命講座も受けますし、危険な虫に刺された時の対処法も学びます。自分の危機対応能力がアップしているのを感じます。

難点は活動が忙しいこと。今は下の子が自主保育に行っているのですが、イベントがあったり会議があったりして、あまり一人の時間がありません。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

- ☐ 保育園や学校に行っている間 ☐ 睡眠時間を削る ☒ 子どもが寝てから ☐ 早朝 ☐ 実家・親に預ける
☐ 配偶者に預ける ☐ 仕事の合間 ☐ 仕事が休みの日 ☐ 捻出できない ☒ その他

子どもが寝た後と、日中の隙間時間を見つけて制作しています。最近は年を取ってきて夜がたつらなくなってきました。一方で、制作活動は特にコロナ禍以降の方が忙しく、常に考えたり制作したりしていないと間に合わないの、時間の捻出方法は悩みどころです。

下の子が今の自主保育を4歳で卒業したら、その後は親だけの自主保育に行くか、幼稚園に行くかに分かれます。もうすぐ幼稚園の願書の締め切りが迫っていて、どちらにするか悩んでいます。下の子を幼稚園に預ければ、少しは自分の時間が確保できるのですが、そうすると子どもと過ごす時間が減ってしまう。就学前の時期の子どもは見ていてとても面白いですし、上の子の時は一緒に過ごせてすごく楽しかったという印象が強くなるので、制作時間の確保か、子どもとの時間の確保かで揺れています。

10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？ およその時間を教えてください。

- ① 育児：0時間 → 18時間
② 作家：2～5時間 → 0～3時間
③ 仕事：8～12時間 → 週1回2時間

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

自宅の部屋で制作するというのは変わりません。今は家が狭く、自分の個室がもてないので、リビングの一角で制作しています。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

人物や植物をモチーフとして描くというのは変わっていませんが、技法は変わりました。

以前は、版画をやったり、水彩で和紙に線描で描いたり、石膏の上からアクリル絵の具で描いたり、色々してきただんですが、子どもが1～2歳の時に、遊びで動物の絵を見せてあげようと思って描いているうちに、水彩でにじみを生かした今の作風にたどり着きました。この描き方は他にあまり見たことがないし面白いなと思って、以来ずっと続けています。

それから、格段に速く描けるようになりました。あまり広げて作業することができなくなっているので、コンパ

クトにリビングで作れる作品ということで、今のスタイルになりました。子どもに合わせて制作方法を変えたという意識はないんですが、理にかなった感じになっています。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

ありがたいことに、最近は展示やワークショップのオファーが増えました。

コロナ禍になって最初の展示は、実際に展覧会を開くことができなくてオンライン開催になりました。当初はネット上でだけで作品を見せるのは嫌だなと思っていたんですが、見せ方も考え方もスイッチを変えなければと思ってやってみたら、すごくおもしろかったです。去年からは、作品をSNSでちょっとずつ公開したり、作品に物語を考えて二日置きくらいに何節かずつ発表することで、飽きずに見に来てもらうようにしたり、工夫しています。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

自分の身を削る、ということでしょうか（笑）。

あとは、可能な時は夫と子育てを分担したり、子どもは日中なるべく遊び疲れさせて、夜ぐっすり眠るようにしています。

ただ、どうしても今制作しなきゃという時に、子どもをアニメ漬けにしてしまうことがあって、罪悪感があります。アニメ自体が悪いわけではなく、いい影響もあると思うのですが、目が悪くなりそうだし、やっぱり忙しいのは嫌だなとすごく思います。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいますか？

子どもを産んでから知り合った友人が、すぐ近所に住んでいます。子ども同士が同じ自主保育に行っていたことがあり、半年だけ活動を共にしたのですが、子どもが小学校に上がるタイミングで親子共によく遊ぶようになってぐっと距離が縮まりました。子どもたちは毎日のように一緒に学校へ行って、帰ってきてからもどちらかの家で過ごして、そのままお風呂に入って夕飯を食べて帰るなんてこともよくあります。親同士は、お酒を飲んだりしながら、横で制作のことや世間話に花を咲かせています。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

☒ リサーチ ☒ 制作 ☒ 展示 ☒ ワークショップ ☐ アーティスト・イン・レジデンス ☐ その他

本を読んだりリサーチをしたりしたいですね。制作、展示、ワークショップ、アーティスト・イン・レジデンスは子どもができてからもやっています。

来月はアルミを使ったオーナメントのワークショップをやる予定です。それから子どもたちとステンシルでカレンダーを作るワークショップが、年末の恒例行事になりました。年齢によって違う絵になるのが楽しいです。

上の子が1歳半の時に、子どもを連れてアーティスト・イン・レジデンスで長野に行きましたが、かなりきつかったです。木島平村の版画工房でレジデンスをして、村民とワークショップをして、展示もしました。1か月の滞在のうち、子どもは預けたい日に1週間分だけは保育園に預けられるということで、利用させてもらいました。田舎の保育園なので散歩で山に行ったり、ニラせんべいという郷土のおやつが出されたりしてとても興味深かったです。

ただ、子どもは初めての場所で不安に思ったのか、滞在初日は、文字通り休みなく一晩中泣き続けました。それで、私は子どもをあやすために真っ暗な田んぼの中をずっと歩き回ったりして気が狂いそうでした。

子どもを保育園に預けられない残りの3週間は、やっぱり日中は子守りに追われるので、子どもが寝たあとの夜間に制作するしかないですね。制作場所は宿泊場所の隣の建物だったので、泣けば声が聞こえるかなと思って窓を開けて制作していたんですが、聞こえていなくて、気づいたら子どもはずっと泣き続けていて、可哀そう

なことをしたと思いました。

夫も一緒に行ければ子どもを預けて私が制作できたんでしょうけれど、その間夫が働けないと収入がなくなってしまうから、無理なんですよ。滞在中、生活費に相当する補助金のようなものが出るのであれば別なのですが。

アーティスト・イン・レジデンスはまたやりたいですか？

1歳半の子どもを連れてはもう行きたくないですね（笑）。小さな子どもと一緒にいくと、結局制作はなかなかできないです。

けれど、子どもを連れていけば一緒に様々な経験ができるので、それは宝のような時間になると思います。当時は本当に大変でしたが、素晴らしい景色のなかで村の人たちと親密に触れ合うことができ、滞在することで初めて知ることができたこともあって、今思うととても素敵な時間でした。子どもが少し成長した今なら、また行きたいとすごく思います。楽しめるかどうかは、連れていく子どもの年齢や性格が大きく影響するのかもしれないね。

**17 作品制作を継続するためには何が必要だと考えますか？
特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。**

☐ 家族の協力 ☒ ひとりの時間 ☒ 収入 ☐ 美術に関する仕事への就労 ☐ 仲間存在 ☐ その他

**18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、
子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。**

自分の制作場所がすごく狭いので、アトリエスペースを提供してもらえると制作しやすいのですが、日中子どもを見ている時間が長いので、託児サービスがないと制作が進まないですね。自主保育を選んだ私としては、単純な託児とはまた違って、外遊び中心の面白い経験をたくさんさせてあげられるサービスがあったらいいなと思います。

19 お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？

もっともっと自由に、遊びの延長として制作活動をして暮らしていきたいです。